

大分県 大分市 大分市 大分市 大分市

防災ハザードマップ

災害から命を守るためのハザードマップ

保存版

1 町で発生した過去の洪水被害

近年、各地で浸水の被害が発生しています。日本全国でゲリラ豪雨など突発的な大雨が多発していることから、今後も大雨による洪水等に十分注意し、日ごろから災害への備えをしておくことが、自分や家族の身を守ることに繋がります。



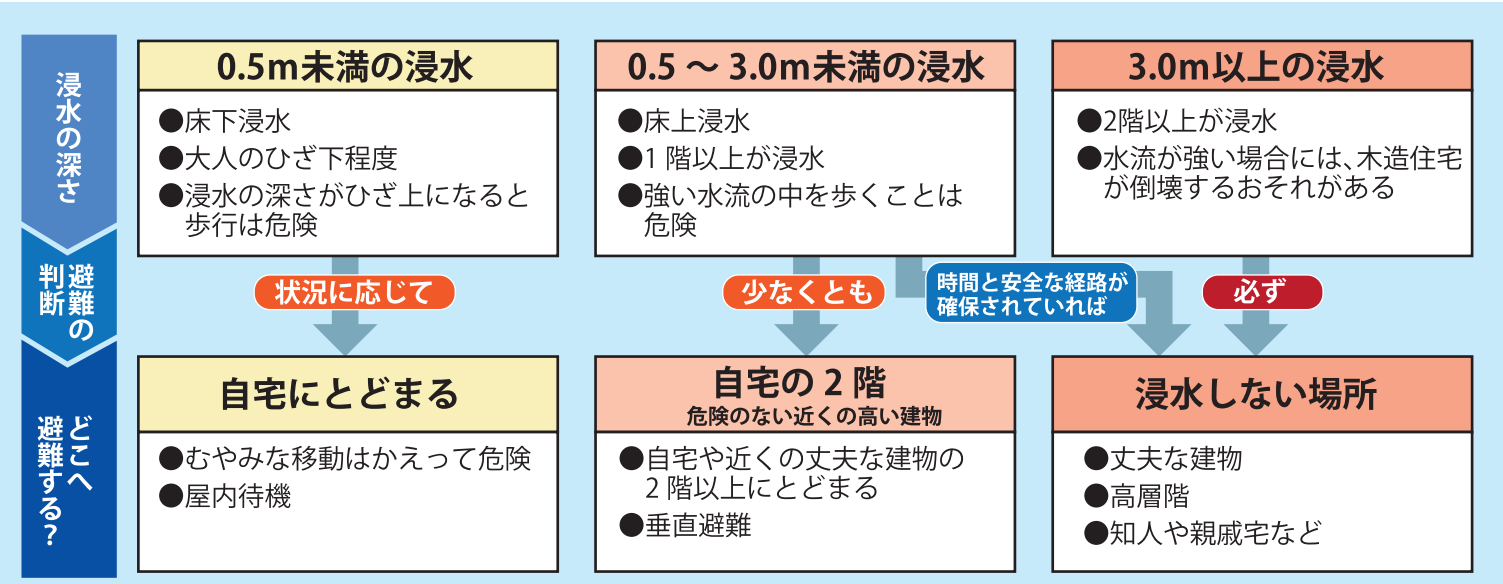
2 大雨によって想定される災害、被害

洪水(外水氾濫) 大雨などで河川が増水・氾濫して、浸水します。	内水氾濫 短時間の大雨で、排水路の処理能力を超えて浸水します。	ため池決壊 長時間の雨などによって、ため池の堤の土が、緩んで崩れ、決壊します。
---	---	---

道路の冠水 車が水に浸かるとエンジンが停止して、車内から出られないことがあります。	床下浸水・床上浸水 流れ込んでくる水は泥水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。	家屋の倒壊 水の流れなどによって、家屋が倒壊し、命の危険性があります。
---	--	---

3 浸水の深さを想定した避難

想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。ハザードマップで自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。



洪水	高潮	地震	避難

マイ・タイムライン

「わが家のマイ・タイムライン」に行動を書き込み、事前に考えておきましょう。

自分の危険度	早期の立退き避難が必要3区域	ある	高潮浸水想定区域	ない	地震の揺れやすさ	震度	わが家の避難場所	わが家から避難場所までの距離、時間
m			m					m 分

いつ	誰が	何をします?
危険度		
大雨が予測されるとき	おとうさんが	家族全員の予定を確認する
警戒レベル1 早期注意情報	おかあさんが	非常持出品の準備をする
警戒レベル2 洪水注意報 大雨注意報	おとうさんが	おばあちゃんを●●避難所に連れて行く
警戒レベル3 危険な場所から高齢者や障害者その他の方は避難準備	家族全員が	●●避難所に避難する
警戒レベル4 危険な場所から全員避難		
警戒レベル5 災害発生情報 命を守る最善の行動		

情報の収集

スマートフォンやパソコンなどで最新の気象情報や災害情報、避難情報などを確認しましょう。

大分県防災・防犯 LINE 大分市公式LINE 大分市役場Facebook

大分県総合防災情報 ふくおか防災ナビ まもるくん

福岡県防災メール・まもるくん キキクル(危険度分布) 川の防災情報

7 自主防災組織、防災訓練について

洪水や、地震などの大きな災害が発生した場合、交通網の寸断や二次災害の発生などにより防災機関が十分な対応ができない場合があります。そこで災害発生時は、住民の皆様お互いに助け合うことが大切です。

自主防災組織について

町内には、4校区(大堰、本郷、大刀洗、菊池)に自主防災会があります。町及び消防署と協力し、平常時及び災害時に様々な活動をしています。

平常時の活動	災害時の活動
1 防災知識の普及 ・防災マップの作成 ・防災学習会、研修会等の開催など	1 情報収集・伝達 町などと協力し、災害に関し正しい情報を住民に伝達する
2 防災訓練の実施 ・情報の収集、伝達訓練 ・消火訓練 ・避難訓練 ・救出、救護訓練 ・炊き出し訓練など	2 初期消火活動 出火防止のための活動や消火器、消防水利の確保、ハケツリレーなどによる初期消火活動
3 地域内の安全点検 ・危険箇所の確認 ・燃えやすいものの放置状況確認 ・倒れやすいものの点検など	3 救出救護活動 負傷者への応急手当、救護所への搬送など
4 防災資材の整備・点検 ・消火器、ヘルメット、ハンマー等の作業用具管理 ・非常食品、救急医薬品等の管理 ・防災資材等の整備、点検	4 避難誘導 地域住民の安否確認、避難所の給水、炊き出し、救護物所への誘導、避難時に助けが必要な方の援助など
	5 食料・物資関係 食料の給水、炊き出し、救護物所への誘導、避難時に助けが必要な方の援助など

防災訓練

町では2年に1回小都市と合同で地域防災訓練を実施しています。訓練では防災関係機関や住民の皆様に参加いただき、災害から身を守るため、倒壊家屋救出訓練・救護訓練・水防訓練・炊き出し訓練などを実施しています。



大刀洗町ため池ハザードマップ



4 避難の心得

大雨や台風に備えて、家のまわりを点検・整備しておく！	非常持ち出し品の事前準備しておく！	避難所や避難経路を確認しておく！	避難する前に確認！ ●ブレーカーとガスの元栓を確認 ●親戚や知人に避難することを連絡
正確な情報収集と自主的な避難をしましょう。	動きやすい服装で、2人以上での避難を心がけましょう。 ●リュックサック ●長袖、長ズボン ●スニーカー	河川・水路に近づかない！	災害時に支援を必要とする人に協力しましょう。

避難は町が指定した避難施設に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。

行政が指定した避難場所への立退き避難 迷惑がかかるから、という理由でためらわず避難してください。	安全な親戚・知人宅への立退き避難 普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。 ※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。
安全なホテル・旅館への立退き避難 通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。	移動が危険な場合は、屋内安全確保 ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。 ①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない。 ②浸水深より居室は高い。 ③水がひくまで我慢でき、水、食料などが十分である。

8 震度とマグニチュード

マグニチュードとは地震そのものの大きさ(規模)を表す「ものさし」です。
震度とはある大きさの地震が起きた時の私たちが生活している場所での揺れの強さを表します。
 例えばマグニチュードの小さい地震でも震源からの距離が近いと地面は大きく揺れ震度は大きくなります。

9 震度と想定される被害

震度4 ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物や、倒れることがある。	震度6弱 ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度5弱 ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	震度6強 ●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多い。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の崩壊が発生することがある。
震度5強 ●物につかまらなさと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。	震度7 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。

5 大雨時の取るべき行動

警戒レベルは、緊急度に応じて、取るべき行動が直感的に理解できるよう5段階に分かれています。普段から避難情報の種類と取るべき行動について確認し、適切な行動をとりましょう。

警戒レベル	状況	住民の皆さんが取るべき行動	避難情報	(参考) 気象庁等の情報	水位警報値
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保!	緊急安全確保	大雨特別警報	氾濫発生情報
< 警戒レベル4までに必ず避難! >					
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示		危険 氾濫危険情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報	警戒(警報級) 避難警戒情報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認		大雨注意報 洪水注意報	注意(注意報級) 氾濫注意情報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める		早期注意情報(警報級の可能性)	

6 キキクル(危険度分布)

気象庁では、大雨による洪水、浸水害の危険度をキキクル(危険度分布)のホームページで警戒レベルと同じ色分けで掲載しています。いざというときに利用すべき情報の種類を確認し、避難の判断に活用しましょう。

大雨警報(浸水害)の危険度分布	洪水警報の危険度分布
色がついている箇所はこんなところに注意	
周囲より低い場所	洪水浸水想定区域 河川沿い

10 もし、地震が起こったら!

地震から身を守る最大のポイントは、事前の備えと冷静な判断力です。いざというときの行動を日頃から確認しておきましょう。

地震発生時の行動	地震発生!	地震発生!	地震発生!	地震発生!	地震発生!	地震発生!
1. 身の安全を確保!!	1~2分	3分	5分	5分~数時間	1日~3日以内	
●命を守る! ●落ち着いて、自分の身を守る!	●火元を確認・初期消火	●家族の安全を確保 ●必需品を手もとに用意 ●余震に注意	●電気のブレーカーを切る ●電話はなるべく使わない ●家屋倒壊などのおそれがあれば避難	●協力して消火・救出活動 ●生活必需品は備蓄でまかなう ●災害情報、被害情報の収集 ●壊れた家には入らない	●引き続き余震に注意 ●避難所では集団生活のルールを守る	